

1 永瀬 勇 氏 (69歳) 機械込造型工【(株)永瀬留十郎工場 TEL:048-222-2044】

《名簿番号4》

○複合材料合金鋳物など鋳造の困難な製品の製造に卓越した技能を発揮し、後進技能者の育成に多大なる貢献

埼玉県推薦

鋳造の難しいセラミック粉末を含む複合材料合金鋳物をはじめ、炭素含有量が極めて少ない極低熱膨張合金鋳物に関し、製品の不良発生を防ぎながら極めて高い精度を保つ卓越した技能を有し、半導体露光装置の構造体や石炭火力発電所に使用される集塵装置用薄物鋳物などの製造を行った。また、優れた技能、知識をもとに業界団体の講習会の講師を務め、後進育成にも貢献している。

○作業風景写真



液晶露光装置用鋳物の鋳造作業

○作品写真



火力発電所用ローター

2 荒井 寛子 氏 (57歳) 機械時計組立・調整工、電気時計組立・調整工

《名簿番号48》

【シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 飯田殿岡工場 TEL:0265-28-1500】

○高級時計の組立・調整において卓越した技能を有し、時計産業および技能継承の両面に多大なる貢献

団体推薦

長年、主に高級時計の組立工として従事し、腕時計の内装・外装組立を一貫して行う卓越した技能を有している。特に機械式時計における精密時間調整技能では時計精度を日差五秒以内に調整する技能を有し、腕時計の不具合箇所を発見する故障診断能力とその不具合箇所を修理・修復できる技能や知識にも秀でていいる。また、社内での後進技能者の育成、技術指導の他、地域・社外での時計組立指導を行うなど、技能継承にも尽力している。

○作業風景写真



ムーブメント組立風景

○作品写真



The CITIZEN

3 川戸 久幸 氏 (71歳) 織布工【川八工場 TEL:0772-65-2611】

《名簿番号 6 7》

○原糸から丹後ちりめんを織り上げ全工程を伝統製法で一環作業する貴重な技能者

京都府推薦

原糸から丹後ちりめんを織り上げるまでの全工程を一人で作業する技能を有する。近年、自社工場で一貫作業する事業所がほとんどなく、産地内でも非常に貴重な人材である。製造する無地ちりめんは紋ちりめんに比べ織物の瑕疵が目立ちやすく、より精密な製織技術や長年の経験により培われた感覚が必要である。特に丹後産地の伝統的な「湿式八丁撚糸機」を用いて強撚糸を作る技能等に優れている。

○作業風景写真



製織（せいしょく）…経糸に強い撚りを掛けた緯糸を織り込む工程

○作品写真



丹後ちりめん 又は 変り三越ちりめん

4 福森 静男 氏 (77歳) 建築大工【山本興業(株) TEL:075-701-6696】

《名簿番号79》

○自然の素材をいかした数寄屋(すきや)大工技術等を通じて、国内外で日本の伝統建築の魅力を発信

京都府推薦

日本の伝統的木造建築、主に数寄屋(すきや)建築の大工棟梁として数多くの木造建築に携わる。特に丸太普請の技能に優れ、自然の素材を生かした伝統的な数寄屋大工技術により、数寄屋、茶室、現代和風建築を生み出している。京都迎賓館、フランス・ギメ東洋美術館の茶室等の新築工事や、多くの文化財など伝統建築の保存・修復技術に関与している。

○作業風景写真



自然の丸太材に基準となる墨線を打つ「墨付け」

○作品写真



臨済宗龍寶山 大徳寺黄梅院 立礼席「關庵」

(読み) りんざいしゅう りゅうほうざん だいとくじ おうばいいん りゅうれいせき かんあん

5 上柿元 勝 氏 (66歳) 西洋料理調理人【(株) オフィス・カミュ TEL:0956-58-5678】

《名簿番号 1 3 7》

○フランス料理を研鑽し食文化の向上・業界の発展に寄与した現代フランス料理の重要人物

個人推薦

フランスで修行した後、フランスの三ツ星レストラン（アラン・シャペル）神戸支店を任せられ、日本の各地の食材を繊細且つ高度なテクニックでフランス料理と融合させ、これまでにない新しい独創的なフランス料理を作り上げた。昭和天皇、皇后両陛下をはじめ、海外の国王などの要人の料理を担当し、技能が高く評価された。また、数多くのお客様の心をとらえ、日本のフランス料理界に大きな影響を与えた。指導者として世界的フランス料理コンクールにおいて多数の優勝者を育成し、後進への技能伝承に尽力している。

○作業風景写真



仕上げ作業風景

○作品写真



長崎県産スズキのポワレ 平戸産アスパラガスのグリエ添え

6 川崎 幸子 氏 (73歳) 人形製造工【博多人形工房川崎 TEL:092-531-1785】

《名簿番号157》

○古事記や万葉人の凛々しさ、おおらかさ、美しさを人形に込める技能者

福岡県推薦

数少ない女性博多人形師として、日本の古代史を題材に、女性の内面に秘められた強さや激しさを表現する独自の作風を確立し、博多人形の世界に新たな分野を開拓した。氏の制作した高さ一五五センチの巨大な卑弥呼の博多人形は、現在JR博多駅構内に展示されており、福岡を訪れる多くの観光客に博多人形の素晴らしさを伝えている。

○作業風景写真



原型制作風景

○作品写真



山のしずく